



269号

2023年

3月22日

発行所 岡山大学職員組合

〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1

電話 086-252-1111 (代)

7168 (内線)

直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <https://odunion.jp>メールアドレス info@odunion.jp

目次： 1~2：入試手当アンケート速報、他大学の情報 3：不正経理等の報道 4：フラワーアレンジメント報告
5：全大教単組代表者会議報告 5~6：勤務評価についての団体交渉解説 7：旅日記 8：野菜三昧

入試手当についてのアンケートを実施しています！

アンケート期間：2023年2月20日（月）～3月31日（金）

岡山大学職員組合では、3月31日まで入試手当アンケートを実施しています。是非みなさまのご意見をお寄せください。以下のURLもしくは右のQRコードからgoogleフォームにアクセスしてご回答ください。<https://forms.gle/7iV2uZWcuAqXvxuD7>



アンケート速報！ <入試業務は特殊な業務>

3月20日まで実施予定の入試手当についてのアンケート速報です。3月8日までに寄せられた48件の回答の集計に寄れば、約2割の方は入試手当が支給されていないことを知らなかったと回答しています。回答者の職種は4分の3が教員で、年齢層に偏りはありませんでした。回答者に占める組合員の比率は約半分で、組合未加入の方からも多くの回答が寄せられています。

教員からの回答が多かったこともあり、過去に担当経験のある入試業務は、「試験監督」がもっと

多くなりました。岡山大学としての入試で「作問・採点」と回答された方がいらっしゃいますが、これは「その他」を選択し記入して回答されたもので、選択肢に最初から「作問・採点」があれば、もっと多くなったのではないかと思います。

入試業務の特殊性については、「とてもそう思う」と「そう思う」がどの担当業務でも大半を占めており、多くの教職員にとって入試業務は特殊な業務であると認識されていることが見て取れます。担当業務別に見ると、教員の担当する「試

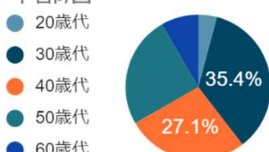
入試手当の認知状況



職種



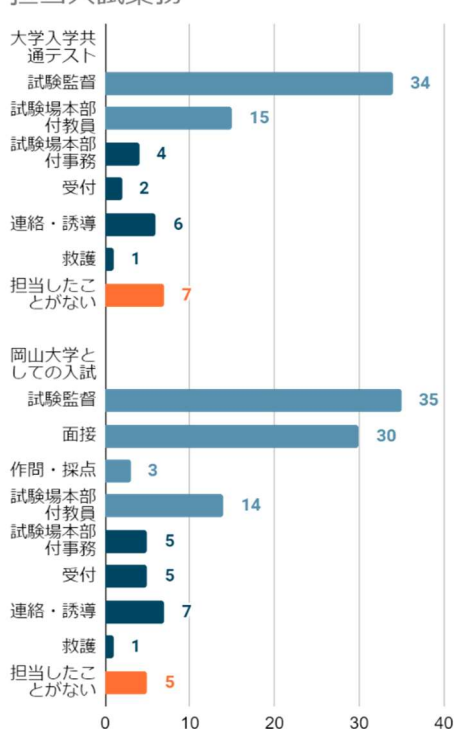
年齢層



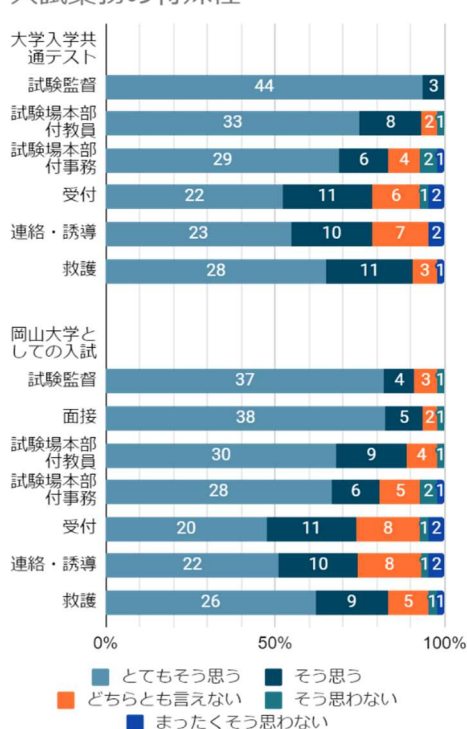
組合加入



担当入試業務



入試業務の特殊性



験監督」や「面接」が最も特殊性が高いと思われる、特に共通テストの試験監督では、「とてもそう思う」と「そう思う」で100%を占めています。次いで、「試験場本部付教員」、「試験場本部付事務」、「救護」、「連絡・誘導」、「受付」と続き、全体的に事務職員と技術職員の担当する業務は教員の担当する業務より特殊性が低いとされています。また、大学入学共通テストと岡山大学としての入試で比較すると、どちらも担当業務ごとの比較は同じような傾向を示しますが、全体的

に見ると大学入学共通テストのほうが岡山大学としての入試より若干特殊性が高いとされているようです。

自由記述でも、入試手当の必要性を訴える多くのご意見が寄せられています。アンケートの結果は、団体交渉などで、教職員の声を伝える資料として利用します。なるべくたくさんの方の回答に基づく調査結果であるほうが交渉でも説得力を持ちますので、皆様、アンケートへのご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

他大学の入試手当の情報

岡山大学では、2020年にセンター試験手当が廃止され、センター試験（現在は共通テスト）の試験監督等に手当はついていません。岡山大学職員組合では、この間、入試手当に関して岡山大学と団体交渉を重ねるとともに、全大教を通じて他大学の情報を収集してきました。その結果、以下の2点がわかりましたので報告します。

- 1) 他大学の中には、個別学力試験（前期入試・後期入試）の試験監督にも手当を出している大学がある。
- 2) 共通テストの試験監督に手当を出していないのは、中四国の国立大学では岡山大学だけである。

共通テスト以外の入試でも試験監督に手当が出ている大学

現時点で、北海道大学、高知大学、香川大学では、共通テスト以外の入試でも試験監督に手当が出ていることがわかっています。金額の多少はありますが、この3大学では一般入試の試験監督にも手当を出しています。北海道大学、高知大学、香川大学、そして岡山大学の主な入試手当について下の表にまとめました。

個別学力試験（前期入試・後期入試）

		北海道大学	高知大学	香川大学	岡山大学
試験問題点検		15,000円/回	10,000円/日	20,000円	10,000円/件
試験場本部		10,000円/回	5,000円/日	3,000円	なし
試験監督	全日	8,000円/日	5,000円/日	3,000円	なし
	半日	5,000円/日	2,500円/日		
出題	責任者	60,000円/回	60,000円/回		60,000円
	部員	50,000円/回	40,000円/回	60,000円 当日待機 3,000円	40,000円
採点	責任者	13,000円/回		20,000円	
	部員	10,000円/回	5,000円/日	3,000円	5,000円/日
面接		10,000円/回	10,000円/日	20,000円	5,000円/日
			5時間未満 5,000円/日		4時間未満 1,500円/日

共通テスト

		北海道大学	高知大学	香川大学	岡山大学
試験場本部		個別試験に同じ	10,000円/日	8,000円	なし
試験監督		個別試験に同じ	主任監督 20,000円 監督 15,000円/日	監督 8,000円	なし
監督補助			4,500円/日	4,000円/日	なし
リスニング補助			2,500円/日	4,000円/日	なし

共通テストの試験監督に手当を出していないのは中四国では岡山大学だけ

中四国の国立大学で共通テストの監督業務に手当を出していないのは岡山大学だけであることが判明しました。鳥取大学、島根大学、山口大学、広島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学、鳴門教育大学では特殊業務手当として監督業務に手当が出ています。徳島大学だけは少し特殊で、特殊業務手当としては出ていませんが、入試業務は教員の裁量労働の範囲外なので、実働時間を超過勤務時間として支払っているそうです（岡山大学の場合は7時間45分を超えた分を超過勤務手当として支払います）。

入試業務は特殊業務であるというのが一般的な認識

これらの情報から考えると、入試業務は特殊な業務であるということが国立大学においては共通認識であること、一般の入試監督業務も特殊な業務として手当が出ている大学があること、そして特に共通テストの試験監督業務は特殊業務であるというのが、少なくとも中四国の国立大学での共通認識であることがわかります。岡山大学で共通テストの入試手当が廃止されたのは、国立大学では異例な事態であると考えます。

昨今の不正経理等に関する報道について モラルを疑われる行動は厳に慎むとともに、実効性のある対策を！



このところ、本学のお金の扱いに関する不祥事の報道が相次いでいます。岡山大学病院の2014年度決算で3億円の不正経理があったことが、2023年1月30日付で岡山大学のホームページで公表されました¹。時を同じくして、1月26日に各種メディアで、岡山大学病院が19億円の新型コロナウイルスに対応した病床を確保するための交付金を過大受給したことが報じられ、2月10日に岡山県の立ち入り検査を受けました。報道を見ていると、両者を併せて報道している例もあります。例えば、RSK山陽放送は2月10日のニュース『「新型コロナ 約19億円 補助金過大受給」岡山大学病院に岡山県が立ち入り調査』の中で「岡山大学病院をめぐるのは、2月2日に2014年度の決算について3億円の経費を付け替える不適切な会計処理が行われていたことも明らかになっています。」と報じており、世間からも岡山大学病院に対して厳しい目が向けられていることが窺えます。さらに、不正経理の公表の直前、1月31日には週刊誌「FLASH」で学長に関する報道もあり、この記事はYahoo!ニュースにも掲載されたため、学内でも教職員のみならず、学生からも目にしたという発言が出るほどでした。週刊紙報道の内容そのものが正しいかはともかくとして、本学のお金の管理について、多くの教職員や学生、さらには報道を目にした学外の人も、大いに疑問を持っていることでしょう。さらには、こういった報道が続くと、運営費交付金が減らされるのではないかと不安を感じるといふ教職員の声も聞かれます。



教員、研究者の皆さんの中には、運営費交付金が削減される中、やっとの思いで獲得した研究費を大事に使っている方もたくさんおられることと思います。このような状況下でありながら、事務方からくる各種の書類や手続きの中には、研究不正が行われないようにするために過剰ともいえるチェック項目が多数あり、仕事の負荷を増やしています。例えば、学会に出席した出張の後には名札の画像データを提出しなければいけないといったような煩雑な手続きに対して、半ばウンザリしながらも研究費の不正使用を防ぐためには仕方がないと思いながら協力しているのが現実です。TAやRAなどの雇用にも際しても、各種の誓約書の提出やコンプライアンス研修など、様々な不正防止対策があ

ります。それらをきちんと実施した上で、さらに、大学側の責任逃れではないかと思うほどのチェックリストや誓約書を提出するなど、大きな労力を果たしてようやくTAやRAを雇用できます。そのため、TAやRAを雇用して減る業務の負荷よりも、各種の書類手続きなどで増える負荷のほうが大きいという声まで聞こえてくる始末です。



こういった各種の研究費や公費の不正を防ぐために、多くの教職員が過大な労力を割いている中で今回の事件はおきました。本学の学長を輩出している医学部の大学病院で、個人の不注意や勘違いなどで生じるとは思い難い、巨額の不正経理や交付金の過大請求が行われたのです。このことが、本学で働く教職員の考え方にどのような影響を及ぼすかは、想像に難くありません。多くの複雑なチェック体制も、誓約書も、コンプライアンス研修も、何の役にも立たないと徒労感を覚えている教職員も多いことでしょう。また、先生方の中には経理担当者から色々問い合わせや書類の差し戻しなどがあり、ゲンナリした経験をお持ちの方も少なくないことでしょう。しかし、大学病院で、こうも易々と、とても一人ではできそうにもない不正経理や過大請求が行われると、経理などいい加減なものではないかと思ってしまう、まじめに行う方が損であるというモラルハザードすら招きかねません。それから、こういったお金に絡む不正があるたびに、チェック項目や誓約書が増え、形骸化しているようにも見受けられます。そういったものが何の役にも立たない上に、学内で事務方のチェック体制が機能していないということも明らかになりました。こうなってしまった以上、関係した職員には猛省を促すとともに、二度とこういったことを起こさせない、かつ教職員に過大な負担を生じさせない不正防止の対策が求められます。そして、責任者を明確にする体制の構築が望まれます。



今回の各種の問題については、報道されている点だけでは全貌が判然としないことも多々あります。岡山大学職員組合では状況を注視し、必要に応じて質問書を提出し事実関係の説明を求めるとともに、二度とこういった不正が生じないように、形式的なものではなく、実効性のある対策を強く求めていきます。

¹ https://www.okayama-u.ac.jp/up_load_files/soumu-pdf/kaikeishorih27taiou.pdf

3/3 フラワーアレンジメント講習会報告

2023年3月3日のひな祭りの日、春の気配が感じられる暖かい日差しのお昼休みに、フラワーアレンジメント講習会を開催し、12名の参加者でにぎわいました。今回は、環境理工学部の小田泰子さんに講師をお願いし、ひな祭りにふさわしい春デザインのフラワーアレンジメントを作成しました。初めての参加の方も、リピーターとしての参加の方も、いろいろと悩みながらも小田さんのアドバイスを受けながら、素敵な作品を完成させていました。今年度も、農学部の後藤先生から多くのお花を提供いただき、本講習会を開催する事ができ、大変感謝しております。また実施してほしいという声も多数いただいておりますので、同様の企画を計画したいと考えております。(駄田井)



あなたも
組合の仲間
になりませんか？



教員の方も、事務職員の方も、パートの方も組合に入ることができます。加入申し込みは、各単組役員、もしくは上のQRコードからどうぞ。メールは、info@odunion.jpまで。

今年は2年ぶりに対面のフラワーアレンジメントに参加させていただき、本当によい気分転換になりました。年に1回組合の教室に参加するだけで、普段から練習していないので、お花を挿すのもおっかなびっくり。それでも、周囲の人の様子を見たり、話を聞いたりしながら見様見真似でなんとか完成しました。実は「ここから先、どうしたらよいかわかりません～」と泣きついて、何度も先生にやさしくアドバイスしてもらいました。飾ってみると見れば見るほど愛着もわいてきて、一人で悦にいます。年度末の何かと忙しい折にフラワーアレンジメント教室を企画していただき、ありがとうございました！(宇塚)

最初に先生から作り方のコツを教えていただいた後は、お花を置く場所をイメージしながら自由に好きな形に作っていきました。お昼休みの短い時間でしたが、他の部局の教職員の方々ともお知り合いになれ、和気藹々とお話もできて、とても楽しいひとときでした。(毛利)

全大教合同地区別単組代表者会議報告



2月19日(日)10時から全大教合同地区単組代表者会議がオンラインで開催されました。前回10月に行われた合同地区単組代表者会議と同様にオンラインの特性をいかし、いつもと違う単組同士の組み合わせでの開催となりました。中四国地区は、前回北海道地区との合同開催でしたが、今回は近畿地区でした。18単組30人の参加があり、活発な情報交換がなされました。会議は予定の時間を少し延長し16時半に終会しました。

全大教中央執行部からの報告では、高等教育、労働条件、組織拡大の3つのテーマについて報告がありました。高等教育では、全大教が最近行った声明や意見表明、文科省との懇談について報告がありました。文科省との懇談において、最近の物価高で来年度の人事院勧告でプラス修正が予想されるが、運営交付金はそれに合わせて人件費を対応するのか聞いたところ、文科省より、これから作業を行うとの回答があったとのことでした。全大教中央執行部は、運営費交付金の見直しがないと、人事院勧告で大幅なプラス修正があったとき、人事院勧告に準拠して給与を支払えなくなる大学がでることを懸念していました。労働条件では、大阪大学での非常勤講師10年雇い止め訴訟の報告がありました。大阪大学では、数年前まで大学が非常勤講師を労働者として認めておらず、雇っている人数も把握できていないとのことでした。組合は基礎情報の入手にも苦労しているとのことでした。組織拡大では、全大教が収集した全国の大学職組が行っている組織拡大方法一覧の紹介がありました。

単組交流では、まずテニユアトラックについてと労働環境の悪化についての情報交流を行いました。テニユアトラックについては、大阪教育大から報告がありました。テニユアトラックの教員は横の繋がりが希薄なことが多く、いろいろな問題を抱えていて相談に乗ることもあるが、なかなか組合加入に繋げることがで

きないとのことでした。他大学から、テニユアトラック向けの情報を掲載した広報誌を配布してみてもとのアドバイスがありました。労働環境の悪化については、奈良高専より報告があり、振り替え休日の取り方と長時間労働について議論になりました。全大教中央執行部から、振り替え休日は同一週内の振り替えが基本だが、労基署によって判断が異なり、大学の場合前後1ヶ月でもよいと言う担当官もいるとの説明がありました。山口大からは、附属学園は1年単位の変形労働制をとっているところが多いが、大学でも1年間だけやってみたことがあるとの報告がありました。長時間労働に対する取り組みとして、徳島大では実態について毎年大学に資料の提出を求めているとのことでした。各単組からの報告で、岡山大からは学長選考と団体交渉での取り組みを紹介しました。今後の取り組みとして入試手当支給に向けてアンケート調査を行うことを紹介し、各大学の入試手当の支給状況について情報を収集しました。



会議の終会后、新企画としてオンラインでのフリートークが自由参加で1時間程度行われました。この日は関東甲信越地区の合同地区単組代表者会議も同じWeb会議アプリ上の別室で行われていました。フリートークは、2つの会議への参加者が用意された4つの部屋に自由に入室して行われました。それぞれの部屋で何を話すかは何も決められておらず、参加者はすでに入室しているメンバーの名前だけで判断して入室しました。最終的に4つの部屋のうちの2つの部屋に10人程度ずつ入室してフリートークは行われました。今回、たまたま2つの会議が同じ日に行われていたのですが、フリートークでは関東甲信越地区の参加者とも情報交換することができました。ウェブ会議アプリの機能を上手に利用すれば情報共有の範囲を手軽に広げられることが分かりました。

勤務評価についての団体交渉解説

2022年12月2日に、組合員Aさんの勤務評価に関する団体交渉を行いました。ここでは、その団体交渉の結果わかったことをみなさんと共有させていただきたいと思います。

経過

Aさんは1年契約の非常勤職員です。2022年3月に

突然上司より口頭で勤務評価が下がり基本給減額となると伝達がありました。Aさんは書面でその理由を渡してほしいと言いましたができないと言われました。上司より理由について明確な回答はなく、また改善のための指導ありませんでした。Aさんは勤務評価が下がった理由を知ろうと、勤務評価結果に係る保有個人情報開示請求を行いました。開示された勤務評価

調書では肝心の勤務評価の部分が黒塗りでした。Aさんは評価が下がった理由を知ったのちに岡山大学の苦情処理委員会に勤務評価に関する苦情を提起しようと考えていましたが、何か指導があるのではないかと待っている間に苦情提起ができる期間が過ぎてしまったために苦情を提起することができませんでした。岡山大学職員組合は、Aさんの評価が下がった理由を明らかにすることと、Aさんの時給をもとに戻すことを求めて団体交渉を行いました。

勤務評価を理由に 給与を下げることは可能なのか？



雇用契約は、雇用者と労働者との間の対等な契約です。ですので、使用者が勝手に労働者の給与を下げることは原則的にはできません。しかし、1年契約で有期雇用を繰り返す場合は、建前上は1年ごとにあらたな雇用契約を結ぶということになりますので、契約を結び直すときに給与を変更することが可能となります。もちろん、雇用者と労働者が合意のもとで雇用契約を結ぶというのが前提です。岡山大学の非常勤職員就業規則では、非常勤職員の給与はA、B、Cの三段階あります。最初はA区分ですが、契約更新されるたびにB、Cへと昇給します²。非常勤職員について勤務評価は行われますが、それは雇用契約を継続するかどうかの判断に使われ、時給をいくらにするのかの判断には使われません。

ところがAさんに適用される岡山大学総務・企画部人事課グッドジョブセンターにおける職員の就業に関する要項第4条3項では、「前項の規定にかかわらず、当該職員の前年度の勤務状況、業務に対する適性・能力について、前条に定める勤務評価を行った上で、適当と認められる場合は、別の単価とすることができるものとす。」と、勤務評価によって給与が変わることがあると明記されています。

この要項にしたがってAさんの時給を下げたというのが大学側の説明でした。ただし、Aさんのケースでは、次年度の契約では時給が下がるという連絡があったのが年度末の3月で、これについては知らせる時期が遅過ぎたということを大学側も認め、今後は改善すると回答しました。

勤務評価の結果は 誰が開示請求をしても黒塗り！

Aさんの開示請求によって開示された勤務評価調書が黒塗りであったことの説明を求めたところ、勤務評価調書を開示するときは、勤務評価の部分を黒塗りに

するのが岡山大学のルールであるとの回答でした。つまり、Aさんだけでなく、誰であっても、自分の勤務評価の部分は黒塗りにされ、知ることはできないということです。勤務評価で不明なことがあれば、ただちに苦情処理委員会に勤務評価に関する苦情を提起するべきであることが明らかになりました。

労働者の勤務状況をどのように評価するかは、雇用者の専権事項です。その観点から言えば、自分の勤務評価の詳細を労働者が知ることができなくても問題はないと言えます。しかし、そもそも岡山大学で勤務評価を行っている理由は、それを給与へ反映するためだけではなく、職員の意識高揚と組織の活性化・発展に資するため、とあります(国立大学法人岡山大学職員勤務評価実施規程第1条)。そのためには、少なくとも、それぞれの職員が何を改善すべきかが本人に知らされなければなりません。すなわち改善のための指導が必要です。今回のAさんの事例ではそのような指導はいつさいなかったとのことです。この件についても組合は団体交渉において指摘を行い、大学側は職員の勤務状況に改善すべきところがあれば適切に指導すると回答しました。

「障がい者虐待を見た」という発言は 勤務評価を下げる理由にならない



Aさんの場合、職場の会議で「障がい者虐待を見たことがあるか？」という問いに対して「ある」と答えたことが評価を下げた理由ではないかという疑いがありました。大学側は、Aさんの評価を下げた理由は個別にAさんに知らせると回答し、今回の団体交渉ではその理由は明らかになりませんでした。ただ、大学側は「障がい者虐待を見た」という発言は勤務評価を下げる理由にならないと、明確に回答しました。

障がい者虐待というのは肉体的な虐待に留まりません。障がい者をたたく、大声でどなる、などは当然障がい者虐待に含まれますが、それだけではなく、障がい者が理由でできないことを何度も繰り返しやらせようとする、障がい者が理由でできないことに対してできないことを謝罪させるなども障がい者虐待です。ダイバーシティ&インクルージョンを目指す岡山大学の構成員として私たちひとりひとりが障がい者に対する理解を深める必要性を感じます。岡山大学職員組合は、岡山大学がより良い場所になるよう、引き続き取り組んでいきたいと考えています。

**雇用条件、労働環境などで疑問があれば、
組合へご相談ください。**

² 非常勤職員就業規則別表第5の1の備考：職名欄の「B」の区分は、初回の勤務評価が「可」と判定された者を契約更新する際に適用し、職名欄の「C」の区分は、2回目の勤務評価が「可」と判定された者を契約更新する際に適用し、それ以外の者には「A」を適用する。

ローカル線で行く！フーテン旅行記

第95回 あと1年！

特急街道を走る普通列車 北陸本線

工学部職員組合 大西孝

国鉄分割民営化以降、新たな新幹線が開業すると、並行して走っていた在来線の多くは JR から地方自治体が運営する第三セクターへ移管されます。これまで、東北新幹線の盛岡以北への延伸や北海道新幹線、九州新幹線、北陸新幹線の開業や延伸の度に JR の在来線網が途切れ、以前は在来線の特急列車が行き交った幹線も、その地域のみを走る普通列車と、JR 貨物が運行する貨物列車だけが走る光景が見られるようになりました。新幹線網の発達により、在来線特急が行き交う幹線は徐々に減ってきましたが、北陸本線には金沢と大阪、名古屋を結ぶ特急列車が健在です。しかし、来年春には金沢から福井県の敦賀まで北陸新幹線が延伸され、敦賀から米原までのわずかな区間を除くと、北陸本線は第三セクターになります。今回は特急の合間を縫って走る北陸本線の普通列車の最後の活躍をお伝えします。

北陸本線は、かつては滋賀県の米原駅から新潟県の直江津駅までの約 350km を結ぶ長大幹線でした。大阪駅から湖西線と北陸本線を経由して新潟県へ向かい、さらに日本海沿いを北上して青森駅までの約 1050km を半日かけて走破する特急「白鳥」なども運行され、大幹線にふさわしい路線でした。現在でも大阪や名古屋から北陸の都市を結ぶ特急が 1 時間に 2・3 本は運行され、普通列車が 1 時間おきの運行であることと比べると、特急街道というべき重要な路線です。しかし、2015 年 3 月に北陸新幹線が長野から金沢まで延伸された際に、金沢から直江津の間の区間が第三

セクターになり、北陸本線の距離は半減しました。さらに、前述のとおり北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸されると、北陸本線として残る区間のほとんどは滋賀県の湖東地方になり、距離もわずか 45km 余りの路線になります。

北陸本線の普通列車は、各駅に停車するとはいえ俊足を誇ります。最高時速 130km で追いかけてくる特急を妨げないように、駅の間は時速 100km 程度で快走し、駅の間隔が長く線路も良いことから、比較的長い距離を利用しても所要時間はそれほどかかりません。接続が良ければ金沢から敦賀までの 130km 程度の距離を、普通列車でも 2 時間半程度で移動できます。以前は急行電車のお下がりや、寝台特急を改造した古風な電車が普通列車として走っていましたが、2015 年までに関西の新快速と同じ座席を備えた新型車両に置き換えられ、快適な旅を楽しめます。

敦賀駅では建設中の巨大な新幹線の駅を眺めて発車し、眼鏡フレームの製造で有名な鯖江を経て、福井駅に到着します。福井駅では乗換が必要な場合がほとんどですが、待ち時間が長い場合は改札を出て、福井名物のソースカツ丼を食すのも一興です。また北陸地方のコンビニでは、鰯（ます）を使った押し寿司風のおにぎりや蟹寿司などもよく売られており、北陸の味を手軽に味わうこともできます。福井から金沢にかけては、県境の倶利伽羅（くりから）峠を除くと、車窓にのんびりとした田園地帯が広がります。途中の小松から金沢の間は列車の本数が増えるので、お腹が空いたら小松駅で途中下車して、高架下にある金沢カレーのお店で腹ごしらえをするのもいいでしょう。空いた普通電車でゆったりと特急街道を移動するのも良いものですが、この経験ができるのもあと 1 年です。



新幹線の駅が姿を現した敦賀駅を出る福井行きの普通列車。来年3月、北陸本線の敦賀から金沢の区間はJRから第三セクターへ移管されます。



敦賀から金沢までの沿線は田園地帯が大半ですが、場所によってはほぼ完成した北陸新幹線の高架橋と並走します。



敦賀から峠を降りてきた福井県の今庄駅で後続の特急を待避。ここではかつて、峠に挑むための補助機関車を連結したそうです。



北陸本線沿線のグルメ 左段：ハーフサイズの鰯寿司（敦賀駅）、金沢カレー（小松駅） 右段：蟹寿司、ソースカツ丼（いずれも福井駅）

野菜三昧 番外編 もやし

一教授の真冬の自由研究 その2ー

農学部職員組合 安場健一郎

前回からもやし栽培を継続。その結果は、

もやしについてさらに調べた

正直、あまり、モヤシについて詳しく調べたことがなかったので、これを機会に勉強してみました。青葉高著「日本の野菜」(八坂書房)を県立図書館でレンタル。青葉先生は野菜の歴史に詳しい大先生で非常に勉強になります。モヤシはビタミンCが豊富で日露戦争の壊血病予防につかわれたこと、一般的なモヤシは胚軸が曲がっているタイプで「はかりもやし」といわれているもので、地面に種をぎっしりまいて暗所で発芽させて知際を切り取る作り方もあるとのこと。こちらは胚軸がまっすぐ伸びるので束ねることができるらしいです。前回紹介した大鰐温泉のモヤシもこのタイプですね。また、モヤシは古代から薬草として用いられていたこと、江戸自体には食用として特に寺院の精進料理でよく使われていたことなどが書かれています。東北など冬に野菜が作れないところでは貴重な野菜だったようです。へーって感じですね。他の野菜についても詳しく書かれている本で、卒論シーズンですがつい読みふけてしまいました。

自由研究のつづき

前号から、もやし栽培を継続。3~4時間おきに水やりをなさいと書いてあります。さすがに1週間それを続けるのは無理。とりあえず、朝起きると栽培容器を流しに持って行って水やり、昼に大学から一時帰宅して水やり、夜、帰宅して水やり。雨の日も雪の日も一日三回のルーチンを繰り返しました。家が大学から近いのと出張がなかったのになんとかかなりでしたが、「すいません、家のモヤシに水をやるので待ってください」といって来客を待たせるのは恥ずかしかったです。2日後には発芽し、説明書での収穫予定の7日後ではまだ小さかったですが(冬なので当たり前ですが)、9日目には大豆と緑豆のモヤシはそれなりのサイズになりました。ブラックマップは発芽しましたが大きくならなかったのを諦めました。多分もっと温度が必要なのでしょう。

できたモヤシを見てびっくりしましたが、緑豆もやしは売っているのと同じ感じが違う。まず細い。売っているモヤシの方が断然太い。しかも市販のモヤシは豆がついていないぞ！普段もやしで料理を作っている妻もびっくりでした。出荷するときに豆を落と

して出荷しているのではないかと思います。

サッポロ一番 塩らーめん

緑豆と大豆のモヤシは試食してみました。緑豆もやしはさっと湯がいてラーメンの具にしてみました。市販の超有名な袋めんを使用。パッケージを参考にエビ、ハウレンソウ、ゆで卵なんかもついでにのせちゃって、ビジュアルにこだわりぬいた至高の一杯。食べてまたびっくり、めっちゃうまい。もやして豆の部分と根つこの部分がある方が味は濃くってうまいのではと思いましたが、単に私が豆好きなだけかもしれません。しかし、この塩ラーメンめっちゃうまいですね。約100円でこのクオリティはちょっと信じられんです。大豆もやしはナムルにしました。湯がいて、刻みニンニクとねぎ、すりごま、もろみ、しょうゆ、酢、ごま油などを混ぜて出来上がり。1週間かけて作ったモヤシですがナムルにして食べると2、3口で終わりです。安定のうまさ。ナムルには大豆もやしの方がおいしいのではと思います。

九日間の自由研究。水やり一日三回、野菜三昧はじまって以来、まさかのダントツで高難度の栽培レベルです。夏だともっと頻繁に水やりが必要ではと思います。普段は買って食べるしかないですね。売値もカロリーも控えめ。ビタミンも豊富で使い道が多い野菜。テレビもYouTubeもTikTokも全部見飽きて、なーんもやることなく、暇で暇で暇で仕方が無いときに栽培するのをおすすめします。



栽培開始2日後に無事発芽。9日後にはブラックマップ以外は食べられるサイズになりました。

写真上：ブラックマップ、下左：緑豆、下右：大豆。



9日後のモヤシは豆がついていました(右)。豆をとると、市販のモヤシのようなフォルムになります(左)。やや細いですが。

ラーメンのパッケージを参考に作りました。根つき、豆つきの緑豆もやしを具にしました(エビの少し上のあたり)。左下は大豆モヤシのナムル。ハウレンソウのナムルと一緒に作り今日の晩御飯。